

同音異義語と同訓異字

- ・ 同じ音読みをもつ漢字が複数ある場合、それらを同音異義語といいます。同じように、同じ訓読みをもつ漢字が複数ある場合、それらを同訓異字と いいます。
- ・ 同訓異字の大部分は用言（活用のある言葉）で、最も多いのは動詞です。

例 オサめる
 本を箱に収める
 税金を納める
 学問を修める
 国を治める
 オカす
 危険を冒す
 法を犯す
 権利を侵す

身に付けると...

語句を文脈の中で適切に書き分けることができます。

やってみよう

〔解答と解説〕

対象

以外

関心

週刊

想像

対象 目標や目的とするもの。
 対照 共通性の高いいくつかのものを
 対称 直線や点を軸にして向き合っ
 て
 以外 それを除いた他のもの。
 意外 考えたことや予想と違っ
 ていること。
 関心 心ひかれてそれに注意を向ける。
 感心 たいしたものだと思っ
 て心を動
 かし
 週刊 週に一回刊行されること。
 習慣 生活の中で繰り返される決ま
 ったやり方。
 創造 新しい物を作り出すこと。
 想像 実際に経験していないこと
 について考えをめぐらすこと。

三

少数 人数やものの数が少ないこと。
 少数 一より小さい数。0.1、0.3、2.5のよ
 うな数。

見当 だいたいの見込み。
 検討 いろいろな面で十分に調べて研究
 すること。

健闘 力を出し切って戦うこと。
 深長 考えれば考えるほど深い。
 慎重 できるだけ注意深く物事を考える
 こと。

伸張 伸びて広がること。
 回答 要求や問い合わせに対して答える
 こと。

解答 問題などを解き、この答えを示す
 こと。

イ

ア

ウ

ア

既成 物事がすでに動かしがたい事実と
 なっていること。

帰省 ふるさとに一時的に帰ること。
 紀行 旅行中に見たことなどを書いたも
 の。

機構 会社などの組織を組み立てる仕組
 み。

敢行 障害があることを知りながらあえ
 て行うこと。
 慣行 前からの習わしで行われること。
 異常 様子がふつうと違うこと。正常で
 ないこと。

異状 ふつうと違った状態。特に悪い状
 態をいう。

得意

小数

検討

慎重

解答

得意 よく慣れていて、自信があるこ
 と。
 特異 ふつうと違ってめずらしくすぐ
 れている様子。